

2019年

6/15

土

14:00~15:00

長崎歴史文化博物館 会場:ホール



〒850-0007
長崎市立山1-1-1
TEL: 095-818-8366
FAX: 095-818-8407

入場料 2,000円

語り部
柴田 美保子



脚本 市川 愉実子
音楽 松本 俊行
神話絵画 マークエステル

主催: 市川森一古事記製作プロジェクト
問い合わせ: 大木 美佐 090-4982-3395

其之弐

八岐大蛇

英雄伝説
スサノオのヤマタノオロチ退治の

市川森一古事記

天語り





市川 森一

原作



脚本家、劇作家、小説家。

1941年4月17日、長崎県諫早市生まれ。日本大学芸術学部卒業後、1966年『快獣ブースカ』で脚本家としてデビュー。『ウルトラマンシリーズ』など子供向け番組を手掛けた後、ドラマ『傷だらけの天使』『淋しいのはお前だけじゃない』、NHK大河ドラマでも『黄金の日』『山河燃ゆ』『花の乱』など、数々の大ヒット作を世に送り出した。日本放送作家協会理事長を長く務め、文科省中央教育審議会や文化庁国民文化祭などの委員、故郷では長崎歴史文化博物館名誉館長、諫早市立図書館名誉館長等を歴任した。

2011年12月10日永眠。享年70歳。

柴田 美保子 語り部

本名・市川美保子。大阪市出身。

児童劇団を経て、大阪府立生野高校在学中の1965年4月からNHKで1年間放送された『チコちゃん日記』の主演でデビューした。その後、テレビドラマ、映画、舞台で活躍する。72年、脚本家の市川森一と結婚。80年から6年半にわたりテレビ朝日の『モーニングショー』で司会を担当する。伊丹十三監督の映画には『マルサの女2』『静かな生活』など5作に出演する。2013年11月の宮崎公演から始まる市川森一原作『ドラマティック古事記』シリーズは宮崎や京都、福岡、東京・新国立劇場オペラパレスでも上演され、語り部を務めている。また、一人語りの『古事記天語り』の活動も各地で行っている。市川森一脚本賞財団理事。



マーク エステル

神話絵画



1943年パリに生まれる。1970年大阪万博に初来日、京都清水寺で水墨画の滲みに魅せられ、外交官を辞め画家に転進、日本の精神的文化の原点を「古事記」の中に見出し、油絵の滲みの技法で日本の神々を描き伊勢神宮、出雲大社をはじめ全国180社の神社に奉納活動を続けている。2014年文化関係者文部省大臣表彰を受賞 2015年九州国立博物館にて個展 2017年東京新国立劇場オペラハウスにて「ドラマティック古事記」に作品映像を提供する。

